

# 学校図書館支援センター通信 151号

令和2年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

## 令和2年度文部科学省委託事業のまとめ

2月12日（金）、今年度の文部科学省委託事業に関わる企画運営委員会を開催しました。推進協力校である市川市立第七中学校の1年間の取組を中心に、今年度の調査研究について振り返りと来年度に向けた課題についての整理を行うことができました。

今年度も事業委員長として帝京大学 教授 鎌田 和宏先生にご参加いただき、ご講評いただきました。また、市川市学校図書館アドバイザー小林 路子先生、校長会代表 市川市立曾谷小学校校長 富永 香羊子先生、教頭会代表 市川市立大柏小学校 大熊 和男 先生にもご参加いただき、お話を伺うことができました。

### 今年度の第七中学校より実践報告



今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を考えながらの取組となりました。従来のように調べ学習を行うことができるようにするために、学校図書館のテーブルには、透明なパネルの衝立を置くなど、3密を回避するための工夫を行いました。このような状況の中、いろいろな教科での学校図書館活用をめざして取り組みました。また、毎年行っている図書委員会による保育園児への読み聞かせの活動も、読み聞かせをタブレットで録画をして行いました。コロナ禍でも行えることを図書委員会の生徒たちと模索しながら、よく読まれている本の紹介やおすすめの本のPOP作りなどに取り組みました。

### 校長会代表 曾谷小学校 校長 富永 香羊子先生より

第七中学校は、文部科学省委託事業の協力校として10年以上の積み重ねがある学校です。第七中学校から、市内の中学校へ発信している役割が大きいです。また、管理職の協力体制も整っている学校でもあります。以前行った4年目教員の学級の児童生徒3000人の実態調査と今回の第七中学校の生徒の実態調査の結果と類似した点は、本を読んで、「新しいことを発見する」「他の本も読みたくなった」という項目が高いことです。本を読むことで、次の読書につながっています。このことが強みであり、意味のあることです。

### 市川市学校図書館アドバイザー小林 路子先生より

第七中学校は大規模校であり、教職員の異動も多い学校なので、先生方の異動とともに市内へ実践が広がっています。第七中学校では、情報カードや学び方プロセスが共有されており、教科で同じものを使っている学校は少ないです。まとめ方も共有されているので、教科を超えて共有され、生徒たちが調べ学習の方法を身に付けられるようになっていきます。生徒たちが学び方のプロセスを身に付けているので、異動してきた先生方も取り組みやすい環境となっています。

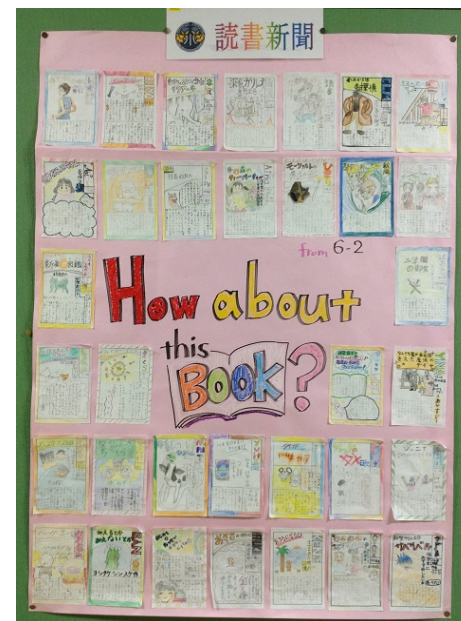
### 事業委員長 帝京大学 教授 鎌田 和弘先生より

他の自治体を見てみると中学校での実践の蓄積が少ないので、第七中学校の事例は大変貴重です。第七中学校より「3観点での評価が始まることに伴い、学校図書館活用の評価はどうしたらよいか」という質問があり、質問の内容について次のとおり回答がありました。  
スキルテストでは、プロセスがわからないので、パフォーマンス評価についても考えていく必要があります。例えば、仮想の問題を考え、一年間で学んだことを使ってどうやって調べますかと聞き、実際に計画を考えてもらう方法です。そして、一番大切なことは、学校図書館を活用した授業を通して、「このような生徒になってほしい」というモデルを教員自身が持つことです。

大和田小学校では図書委員が読書月間の内容を企画します。今年度は感染予防の為、多くの制約がありましたが、新たなチャレンジをしようと話し合い、アイデアを出し合いました。その結果、今年度は図書委員の「やってみたい」という思いを尊重し、新たな試みとして、本の内容を紹介する動画を作って全校に伝えたり、図書委員新聞を発行したり、図書館に届く月刊誌をバックナンバーも含め各学級に貸し出したりする活動に取り組みました。

また、本校では学習の中で新聞を書くことを積み重ねているので、全校で読書新聞を書き、本を紹介したコミュニケーションを継続して行うこととしました。その結果、「この本読んでみて！」と子ども達の間でおもしろさが口コミで広がり、本の楽しさを全校で共有するきっかけになったと感じています。

【大和田小学校 学校司書 倉持 智子】



### 「学校図書館調査」提出のお願い

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各学校において感染防止対策を講じながら、学校図書館運営を行っていただきました。今年度の学校図書館の活用状況を把握することで、来年度の学校図書館運営につなげていければと考えております。つきましては、「学校図書館調査」のご協力をお願いいたします。

3月9日（火）が、提出締切となっております。計画的に準備を進めてくださいますようお願いいたします。管理職の確認後、提出となりますが、押印は省略をお願いいたします。

#### 【提出物】

- ①学校図書館活用授業時数調査 ②学校図書館チェックリスト ③学校図書館活用実態調査

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。  
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）  
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4  
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352  
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

